



平成20年8月5日

各 位

会 社 名 トーヨーカネツ 株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 水上 健  
 (コード番号 6369 東証第一部)  
 問 合 せ 先 取締役上席執行役員経理部長 藤吉 昭二  
 (TEL 03-5857-3333)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月15日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

1. 平成21年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成20年5月15日発表)	24,800	500	850	980	7.35
今回修正予想(B)	22,400	550	950	1,770	13.28
増減額(B - A)	2,400	50	100	790	5.93
増減率(%)	9.7	10.0	11.8	80.6	80.7
(ご参考)前期第2四半期累計期間実績 (平成20年3月期第2四半期累計期間)	24,768	1,697	1,991	2,009	14.54

2. 平成21年3月期 通期の連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成20年5月15日発表)	57,000	1,900	2,500	2,500	18.76
今回修正予想(B)	55,700	1,900	2,550	3,260	24.46
増減額(B - A)	1,300	0	50	760	5.70
増減率(%)	2.3	0.0	2.0	30.4	30.4
(ご参考)前期実績(平成20年3月期)	49,784	3,686	4,120	3,809	27.90

3. 平成21年3月期 第2四半期累計期間の個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成20年5月15日発表)	15,500	520	900	890	6.67
今回修正予想(B)	14,900	780	1,320	2,100	15.73
増減額(B - A)	600	260	420	1,210	9.06
増減率(%)	3.9	50.0	46.7	136.0	135.8
(ご参考)前期第2四半期累計期間実績 (平成20年3月期第2四半期累計期間)	13,726	1,578	1,888	1,921	13.89

4. 平成21年3月期 通期の個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成20年5月15日発表)	34,800	1,390	1,880	1,870	14.01
今回修正予想(B)	35,700	1,620	2,280	3,060	22.93
増減額(B - A)	900	230	400	1,190	8.92
増減率(%)	2.6	16.5	21.3	63.6	63.7
(ご参考)前期実績(平成20年3月期)	28,479	3,223	3,467	3,289	24.06

## 5. 修正の理由

### 第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正について

売上高につきましては、主に物流システム事業において当初受注を目論んでおりました案件の一部が延期となったこと等の影響により、前回の予想を下回る見込みですが、機械・プラント事業が堅調に推移し、利益面で物流システム事業の業績をカバーするため、営業利益及び経常利益につきましてはほぼ前回の予想どおりとなる見込みです。なお、特別利益といたしまして海外工事案件にかかる偶発損失引当金の戻入542百万円、未払債務の履行免除が確実となったことに伴う債務免除益132百万円、及びリース会計基準の適用に伴う影響額292百万円等の計上が見込まれるため、税金費用として220百万円を計上する見通しであること等を勘案しても、四半期純利益につきましては、前回の予想を上回る見込みです。

### 通期の連結業績予想数値の修正について

第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正に伴い、通期の業績予想数値を修正いたします。

### 第2四半期累計期間の個別業績予想数値の修正について

売上高につきましては若干の減少が見込まれますが、機械・プラント事業の海外受注案件の採算の改善に加え、為替相場が円安傾向に推移していること等を反映し、営業利益及び経常利益につきましては前回の予想を上回る見込みです。なお、特別利益といたしまして海外工事案件にかかる偶発損失引当金の戻入542百万円、また未払債務の履行免除が確実となったことに伴う債務免除益132百万円の計上が見込まれること等により、四半期純利益につきましても、前回の予想を上回る見込みです。

### 通期の個別業績予想数値の修正について

売上高につきましては、機械・プラント事業の国内受注案件の工事進捗により増加することが見込まれます。また第2四半期累計期間の個別業績予想数値の修正と同じ理由により、営業利益、経常利益及び当期純利益も前回の予想を上回る見込みです。

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

以 上